

## ケヤキの木に異変



↑夏のさなかに茶色く枯れるケヤキの葉  
(奥多摩橋から)

万年橋から西の地域で、ケヤキの木に異変が起きています。7月8月に二度葉っぱが茶色くなり、落ちてしまうのです。地元の方たちの数年に及ぶ観察から、これは「ヤノナミガタチビタムシ」という3ミリくらいの甲虫の被害だと分かってきました。市民が市役所にこのことを電話したら、何と！たらいまわし・・・市役所は環境の変化に対するアンテナが低いようです。ウメウィルスの発見が遅くなったのもこういう体質のせいではないか、とその方は怒っていました。

(9月議会で取り上げました。  
市は都の環境局に調査を依頼)

## 国体を応援に行きました！



御岳で開かれたカヌー競技。カヌーの観客がこんなに集まることは珍しいそうです。迫力ある競技にみんな驚いていました。

障がい者競技のゴールボールは総合体育館。ボールに仕込まれた鈴の音を頼りに

攻防が繰り広げられました。ボランティア、スタッフの皆様、お疲れ様でした！



障がいを持つ人たちのアートが注目されています。市内でも大きな美術展が開かれました。さわってもいいよ、と言われこんなポーズに。心が解放されます。次は市立美術館でぜひ！！



ひだ紀子議会報告 17号いかがでしたか？  
皆様のご意見・ご感想をお聞かせ下さい！

議会内会派名〈みどりのオンブズマン〉ひだ紀子議会報告vol.17 2013. 冬

連絡先：〒198-0171 青梅市二俣尾2-520 フォレスト青梅201  
tel/fax 050-1332-9289 メールmidorionbu@msn.com



☆ホームページもご覧ください。 **ひだ紀子**で検索できます

# みどりのオンブズマン

政党に属さず、市民の目で市政をチェックしています。

vol.17



## 風通しの良い町へ

議会に出てくる情報だけでは実態がつかめないことがたくさんある。だから私は情報公開請求を繰り返しています。ところが請求手続きをする時、各課の職員の顔が暗いのです。「いろいろ見せてあとで上司からにらまれないかな？」「だいたい情報公開って何？」と感じていた様子。

そこで職員課に情報公開制度の研修をするよう求めました。昨年度から研修が行われ、民主主義の基本である情報公開制度への理解は進んだようです。風通しの良い市役所へ一歩前進！

ところが市の情報公開の決まり（条例）や教育委員会の傍聴規則などは市外の人に対しては門戸を閉ざす姿勢のままです。私の知る限り都内で青梅市だけです。

## ひだ紀子

青梅市議会報告

## 青梅夜具地ですてきなクールビズを

夜具地とは布団の生地のこと。今から50年前の青梅は全国の90%の夜具地を生産していた「織物の町」でした。500もの工場があり、夜になると商店街はたくさんの人でにぎわったそうです。私は青梅夜具地のファンの一人です。レトロでありながらかわいく、斬新。でももっとすごいファンの人たちがいて、ついに1冊本を作ってしまったほど。

この柄を生かしてクールビズのためのシャツを作れないかしら。地元をアピールするスタイルで夏の間仕事したら、市役所が市民に身近になるかも。

議会で取り上げてみましたが、市長は「失礼にならないよう地味な格好で仕事がしたい」と消極的な意見。夜具地デザインを何とか生かせる方法はないでしょうか。



## 公共下水道の計画 ついに変更！！

高速道路と並ぶ巨大な公共事業。人口密度の低い地域に公共下水道管を通して莫大な借金に苦しむ自治体がたくさんあります。私たちの町の下水道の借金は200億円超。昨年度は約16億円を一般会計から回しています。「借金漬けの未来を作ってはならない」と考えて、私は議会ですべて「合併浄化槽にしていくべきだ」と発言してきました。調べてみると、費用を節約でき、地震にも強いと評価されています。日本の製品は世界有数の性能なのです。そして青梅市はついに成木地区の下水道整備計画を、「合併浄化槽で」と決定しました。良かったです！！

## 青梅市観光協会へ 多額の補助

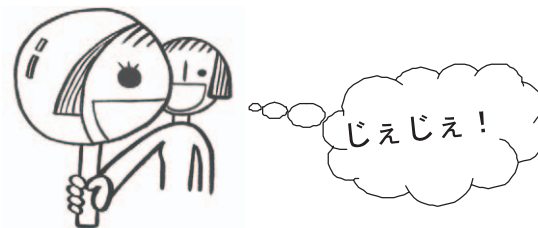
市内の観光地にはそれぞれ地元観光協会がありますが、さらに3年前「青梅市観光協会」ができました。会長は元市議会議長。事務局長は市役所の元部長。事務は市役所職員を派遣。人件費と東青梅センタービルにある事務所代は市役所持ち。運営費と事業費に市からの補助金は年間約1700万円。プラス派遣した市職員の給与約900万円。本来自立すべき民間組織に「天下り」と「補助金」がセットになっている。おかしいと思いませんか。さらに市は、御岳交流センターの管理運営を、公募でなく特例でここにまかせる方針です。公平性、透明性に欠けますよね。青梅市観光協会に本当の民間の意欲と人材育成を期待せずにはられません。

## ひ・み・つ・・・保護？

学校保健統計というデータは青梅市では長い間非公開でした。「秘密であるから公開しない」と教育委員会。どうしてこれが「秘密」なのか、どうしても納得いきません。他の市では堂々と見せているのに。私が不服申し立てをした時、教育委員会はようやく非を認めてだれでも見られるというようになりました。

入手した何年分ものデータを分析してみたら、市内の小学生のぜんそく率は国内や都内の平均をずっと上回っている、と分かったのです。政府は「秘密保護法」を作ろうとしています。何をどこまで「秘密」とするかを官僚が自分で決めていけるようになります。国民が知らないところでどんなことが進行するか、私はとても危険なことだと思います。

ひだ紀子は  
こんなふうにチモクした



おかしいことは  
「おかしい」  
といえる町に

## 高齢者の 自立ささえるには？

「緊急通報サービス」は倒れた場合などにボタン一つで消防署等に緊急連絡ができるシステムです。希望者は多いのですが使っているのは市内の高齢世帯のわずか1%。心臓疾患などがある方ではないと安価な市のシステムが使えないからです。

実は消防署が緊急対応しなくてはならないケースは少なく、本当に必要とされているのは「倒れて起き上がれない」「日常生活でどうしていいかわからないことがあるので相談したい」といったケースです。

各地域にそうした電話に対応するサービスステーションを作り、高齢者の自立生活をお手伝いできるというですね。（6月議会で質問）

## 資源回収について

都内で古新聞や雑紙、段ボール、繊維などの資源をそれぞれ月一度しか回収しない市役所は青梅のみです。住民サービスの基本のところが不足してませんか？他市では回収車両の種類を見直し、コストを削減した上で、雑紙と古新聞などの資源を数種類同時に集めています。市民にはそちらの方が便利だし、資源化もしやすいのではないのでしょうか。

みなさんはどうお考えになりますか？調べてみると、ごみ処理費は割高でした。

市民1人当たりの年間費用  
平成23年度比較

- ・あきる野市 14,600円
- ・八王子市 17,700円
- ・青梅市 22,600円

資源化を進める取り組みが、もっと必要だと思います。